

世界に響く テノールの調べ



CLOSE
UP
大村人

テノール歌手として、世界各地で活躍を続けている本市出身の辻政嗣さん。オーストリアにあるザルツブルグ大聖堂でソリストを務め、現在ヨーロッパを拠点に多くの舞台で精力的に活動しています。

控えめで「典型的な日本人」といわれていた辻さん。ヨーロッパへ渡った当初は、自分をオープンにすることが難しかったそうです。自己主張が強い他国の人々と、良いアンサンブルができるのが不安もあったそうですが、「指揮者がタクトを降ろした瞬間、舞台が一体となり、深い文化と音楽への愛情が爆発するんです。そんな時、自分は世界で一番幸せなんだと感じます。」

辻さんが特に目を輝かせて語ってくれたのは、難民を受け入れている学校で演奏を披露した時のこと。子どもたちは、歌が盛り上がった瞬間、瞳をキラキラと輝かせ、感動を表したそうです。「大村には、地方では希少なプロの『OMURA室内合奏団』がある。人の心を動かすことができる音楽に、是非とも直に触れてほしい。」と熱く語ります。

小学校から、地域で想像力を培ってもらった大村への思いとともに、これまでの経験すべてに感謝を述べる辻さん。将来の夢は「続けること」。活躍し続ける難しさを知っている辻さんだからこそ重みがあります。「歌だけではなく、指揮の勉強をしたり、地方であまり演奏に触れる機会がないところで教えたりできればうれしい。」

辻さんの歌声は世界に響いています。

クローズ
アップ
大村人
vol.27

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。

テノール歌手 辻 政嗣さん



Profile

つじ・まさし
昭和52年1月14日生まれ
桜が原中学校卒。オーストリア国立モーツァルトウム芸術大学・大学院を卒業後ソリストとして歌手活動を行い、オペラや、ドイツなどの主要な声楽アンサンブルにも招かれその活動は多岐にわたる。7月30日には東京でリサイタルが開催された。ベルリン在住。40歳。

